

ぶらり地元散策 第3回



ここは川崎区の中央付近、サンピアンかわさきから大通りを渡ると1～3丁目に区画されている『中島』です。

3丁目には中高一貫となった市立川崎高校と川崎臨港病院があり、ご存じの方も多いことでしょう。

2丁目には400坪の中島公園があり、その隣に中島八幡神社があります。

神社境内入り口の立派な鳥居の右手に「多摩川を汽車で通るや梨の花」と正岡子規の句碑があり、明治25年当時中島村の梨畠の白い花一面の風景を詠んだものと書かれています。

神社は江戸時代初期に村の鎮守社として創建され、祭神は誉田別命、境内には天満宮、稻荷森稻毛神社、神明社、巖島社が祭られていました。

社殿は昭和20年戦火に遇い焼失後、町民氏子の努力で昭和34年に再建されました。

毎年8月に相模流の流れをくむ祭囃子で演じられ盛大に例祭が行われるようです。

向いには当社別当天台宗光明山無量院遍照寺があり、願掛け地蔵にこっそり日頃の秘めたる願望を願ってみては如何でしょう。

また路地を戻ると中盛会商店街があり人通りも多く活気があり飲食店もあります。

朝5時から24時まで営業している中島温泉中島湯は地域密着の昔ながらの銭湯で褐色の温泉です。

神社参拝から願掛け地蔵、そして温泉でひと風呂浴びて付近の居酒屋で生ビールをグイッ。

これ仏の心に近づけるかもしれませんぞ。(拝)

散策人：当会役員「S」

